



内服薬・外用薬の搬送時間について

病棟から「●●さんの内服薬を急いで送って下さい」との電話連絡が多く、対応に苦慮しています。平日業務時間内（8時半～17時）の内服薬・外用薬の薬剤部から病棟への搬送は、下表のメッセージ搬送業務スケジュールで行われています。搬送に要する時間は約30分です。緊急に薬の搬送が必要な場合以外は、病棟到着予定時間までお待ち下さい。 ※電話の対応で調剤が遅れます。

< 内服薬・外用薬のメッセージ搬送業務スケジュール（平日業務時間内） >

薬剤部からの搬送時間		病棟到着予定時間
① 9 : 30	→	10 : 00頃
② 11 : 00	→	11 : 30頃
③ 12 : 30	→	13 : 00頃
④ 13 : 10	→	13 : 40頃
⑤ 15 : 00	→	15 : 30頃
⑥ 15 : 30	→	16 : 00頃
⑦ 17 : 00	→	17 : 30頃
⑧ 17 : 30	→	18 : 00頃

抗がん剤の医薬品情報提供について

2013年9月発行のDI express No. 34で、「抗がん剤の医薬品情報提供について」のご意見をお聞きしましたが、特に問題点を指摘されませんでした。これに伴い、11月1日から抗がん剤の医薬品情報シールの文面に「腫瘍」という文字が入っていますが、「医薬品情報提供」指示がある場合、疑義照会を行わずに医薬品情報シールを貼付することとします。引き続き、ご意見がございましたら、薬剤部DIセンターへご連絡下さい。（内線：2668）

販売会社等変更のお知らせ

以下の薬剤の販売会社等の変更。

医薬品名	変更内容	変更前		変更後
エリキウス錠 2.5・5 mg	販売会社	ブリistol・マイヤーズ株式会社	→	ファイザー株式会社
トラマルカプセル	販促活動	日本新薬		ファイザー株式会社

販売中止予定のお知らせ

★ドプスカプセル100mg(一般名:ドロキシドパ)＜ノルアドレナリン作動性神経機能改善剤＞

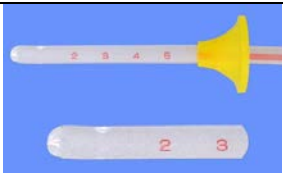
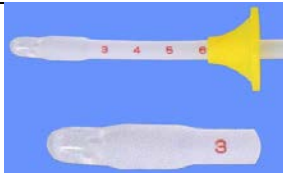
諸般の事情により、諸々の手続き終了後に販売中止予定
代替薬：ドプスOD錠100mg

★プレベナー水性懸濁皮下注(一般名:沈降7価肺炎球菌結合型ワクチン(無毒性変異ジフテリア毒素結合体))

プレベナー13水性懸濁注(沈降13価肺炎球菌結合型ワクチン(無毒性変異ジフテリア毒素結合体))発売のため、10月31日で販売終了。
代替薬：プレベナー13水性懸濁注(沈降13価肺炎球菌結合型ワクチン(無毒性変異ジフテリア毒素結合体))
※11月1日から定期接種に導入

販売名称、包装変更等のお知らせ

★グリセリン浣腸「オフタ」(一般名:グリセリン)＜ディスポーザブル浣腸＞

変更内容	変更前	変更後
チューブ先端の形状及び目盛り表示		

★ハーセプチン注射用 60・150mg(一般名:トラスツズマブ(遺伝子組換え))＜抗悪性腫瘍剤＞

変更内容	変更前	変更後
個装箱デザイン		
個装箱サイズ(mm)	45 X 124 X 95	42 X 102 X 87

★プレミネント配合錠(一般名:ロサルタンカリウム/ヒドロクロロチアジド)＜持続性ARB/利尿薬合剤＞

販売名変更：(旧)販売名 プレミネント配合錠 → (新)販売名 プレミネント配合錠 LD

★リツキサン注 10mg/mL(一般名:リツキシマブ(遺伝子組換え))＜抗 CD20 モノクローナル抗体＞

製品タイトルの変更：(旧)抗悪性腫瘍剤 抗 CD20 モノクローナル抗体 →
(新)抗 CD20 モノクローナル抗体 (抗悪性腫瘍剤の削除)

イミグランキット皮下注3mg の欠品及び イミグランキットスターターパックの供給停止について

★イミグランキット皮下注3mg(0.5mLX2本入り)(一般名:スマトリプタンコハク酸塩)＜片頭痛治療薬＞

英国工場で、製造工程においてシジジの品質上確認しなければならない案件が認められたため、出荷停止となり、欠品状態となっています。代替薬等の他の治療をご検討下さい。(代替薬：イミグラン点鼻液等)

禁忌、効能・効果、用法用量変更のお知らせ

★ステバーガ錠40mg(一般名:レゴラフェニブ)＜抗悪性腫瘍剤＞(緊急購入薬)

【効能・効果】(追加)がん化学療法後に増悪した消化管間質腫瘍

★ソリス点滴静注300mg(一般名:エクリズマブ(遺伝子組み換え))＜抗補体(C5)モノクローナル抗体製剤＞(緊急購入薬)

【効能・効果】(追加)非典型溶血性尿毒症症候群における血栓性微小血管障害の抑制

【用法・用量】下記の用法・用量で点滴静注

年齢又は体重	導入期	維持期
18歳以上	1回 900mg を週 1 回で計 4 回	初回投与 4 週間後から 1 回 1200mg を 2 週に 1 回
18歳未満		
40kg 以上	1回 900mg を週 1 回で計 4 回	初回投与 4 週間後から 1 回 1200mg を 2 週に 1 回
30kg 以上 40kg 未満	1回 600mg を週 1 回で計 2 回	初回投与 2 週間後から 1 回 900mg を 2 週に 1 回
20kg 以上 30kg 未満	1回 600mg を週 1 回で計 2 回	初回投与 2 週間後から 1 回 600mg を 2 週に 1 回
10kg 以上 20kg 未満	1回 600mg を週 1 回で計 1 回	初回投与 1 週間後から 1 回 300mg を 2 週に 1 回
5kg 以上 10kg 未満	1回 300mg を週 1 回で計 1 回	初回投与 1 週間後から 1 回 300mg を 3 週に 1 回

★フィプロガミンP静注用(一般名:乾燥濃縮人血液凝固第XIII因子製剤)＜血漿分画製剤＞

【効能・効果】(追加)後天性血液凝固第XIII因子欠乏による出血傾向

★水溶性プレドニン10・20mg、プレドニン錠5mg、プレドニゾン錠1mg(一般名:プレドニゾン)

＜合成副腎皮質ホルモン製剤＞

【効能・効果】(追加)川崎病の急性期(重症であり、冠動脈障害の発生の危険がある場合)の追加(内服のみ)デュシェンヌ型筋ジストロフィー

【用法】川崎病の急性期: 1日2mg/kg(最大60mg)を3回に分割投与(注射:分割静脈内注射)

★パラキス錠2mg(一般名:オキシブチニン)＜尿失禁・尿意切迫感・頻尿治療剤＞

【禁忌】本剤成分過敏症

☆Drug Safety Update No. 223 より使用上の注意改訂のお知らせ

改訂内容の重要度 ★: 最重要 ※: 重要

成分名(薬品名)	主な改訂内容
セロキシブ(セロックス錠)	<p>※重大な副作用: 間質性肺炎: 咳嗽、呼吸困難、発熱、肺音の異常(捻髪音)等が認められた場合には、速やかに胸部X線、胸部CT、血清マーカー等の検査を実施。間質性肺炎が疑われた場合には投与中止、副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置。</p> <p style="text-align: center;">: 急性汎発性発疹性膿疱症</p>
ヒト [®] ロキセチルデンプン70000 (サリンハス輸液) ヒト [®] ロキセチルデンプン70000・塩化ナトリウム・塩化カリウム・塩化カルシウム水和物・乳酸ナトリウム (ハスパンター輸液)	<p>※効能・効果に関連する使用上の注意: 重症敗血症等の重症患者管理における相対的な循環血液量低下には使用しないこと。</p> <p>※重大な副作用(類薬): 腎機能障害: 類薬(分子量及び置換度等の異なるHES製剤)において、急性腎不全等の腎機能障害があらわれるとの報告があるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には適切な処置。</p> <p>※その他の注意: 海外臨床試験において、重症敗血症患者にHES製剤^{注)}を使用した場合、酢酸リンゲル液を使用した場合と比較して投与後90日時点での死亡のリスクが増加し腎代替療法を要した患者の割合が高かったとの報告がある。また、敗血症患者を含むICUの入院患者にHES製剤を使用した場合、生理食塩液を使用した場合と比較して投与後90日までの死亡のリスクは増加しなかったが、腎代替療法を要した患者の割合が高かったとの報告がある。</p> <p>海外臨床試験において、成人の人工心肺を使用した心臓手術時の輸液管理にHES製剤^{注)}を使用した場合、アルブミンを使用した場合と比較して輸血が必要となる術後出血及び出血による再手術のリスクが高かったとの報告がある。</p> <p><small>注) 本剤とは分子量及び置換度等の異なるもの。</small></p>

塩酸セロトラリン(シ ^{ェイ} ゾ ^フ ロト錠)	<p>※慎重投与：QT 延長又はその既往歴のある患者、QT 延長を起こすことが知られている薬剤を投与中の患者、著明な徐脈や低カリウム血症等がある患者</p> <p>※重大な副作用：QT 延長、心室頻拍（torsades de pointes を含む）： 観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与中止、適切な処置。</p>
ロサルタンカリウム（ニューロタン錠）	<p>※重大な副作用：低ナトリウム血症：倦怠感、食欲不振、嘔気、嘔吐、痙攣、意識障害等を伴う低ナトリウム血症があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、投与中止など、直ちに適切な処置。</p>
プロピ ^ル チオウラシル（チウラジール錠）	<p>※重大な副作用：薬剤性過敏症症候群：初期症状として発疹、発熱がみられ、更に肝機能障害、リン^パ節腫脹、白血球増加、好酸球増多、異型リン^パ球出現等を伴う遅発性の重篤な過敏症状があらわれることがあるので、観察を十分に行い、このような症状があらわれた場合には投与中止、適切な処置。なお、ヒトヘル^ペスウイルス 6（HHV-6）等のウイルスの再活性化を伴うことが多く、投与中止後も発疹、発熱、肝機能障害等の症状が再燃あるいは遷延化することがあるので注意。</p>
フォンタ ^パ リナクスナトリウム（アリクストラ皮下注）	<p>※重要な基本的注意：本剤の注射針^カバーは天然ゴム^ラテックスを含み、アレルギー反応を起こすことがあるので、投与に際し、問診を行うこと。また、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与中止、適切な処置。</p> <p>※重大な副作用：ショック、アナフィラキシー：血圧低下、頻脈、蕁麻疹等があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与中止、適切な処置。</p>
ゾレト ^ン 酸水和物（ゾ ^メ タ点滴静注）	<p>※重要な基本的注意：臨床症状（QT 延長、痙攣、^テタニー、しびれ、失見当識等）を伴う低カルシウム血症があらわれた場合にはカルシウム剤の点滴投与が有効である。</p> <p>※重大な副作用：低カルシウム血症：QT 延長、痙攣、^テタニー、しびれ、失見当識等を伴う低カルシウム血症があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、カルシウム剤の点滴投与等の適切な処置。</p>
エルロチニ ^ブ 塩酸塩（タルセバ ^錠 ）	<p>※重大な副作用：重度の皮膚障害：ざ瘡様皮疹等の発疹、爪囲炎等の爪の障害、皮膚乾燥・皮膚亀裂、皮膚潰瘍、痒痒症等があらわれることがあるので、本剤を減量、休薬するなど、適切な処置。また、重度の皮膚障害発現後に、蜂巣炎、敗血症等の感染症を合併した症例も報告されているので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には適切な処置。なお、必要に応じて皮膚科を受診するよう患者に指導。</p>
ホルテゾ ^ミ （ベ ^ル ケイト ^{注射用} ）	<p>※重要な基本的注意：B 型肝炎ウイルスキャリアの患者又は HBs 抗原陰性で HBc 抗体陽性ないし HBs 抗体陽性の患者において、本剤の投与により B 型肝炎ウイルスの再活性化による肝炎があらわれることがあるので、本剤投与に先立って肝炎ウイルス感染の有無を確認し、本剤投与前に適切な処置を行うこと。本剤の投与開始後は継続して肝機能検査や肝炎ウイルスマ^カーのモニタリングを行うなど、B 型肝炎ウイルスの再活性化の徴候や症状の発現に注意。</p> <p>※重大な副作用：肝機能障害：AST（GOT）の増加、ALT（GPT）の増加、γ-GTP の増加、ALP の増加及び血中^ビリル^{ビン}の増加等を伴う肝機能障害（B 型肝炎ウイルスの再活性化によるものを含む）があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与中止など適切な処置。</p>
ミサイクリン塩酸塩（経口剤、注射剤） （ミサイクリン塩酸塩点滴静注用「日医工」、ミノマイシン錠）	<p>※重大な副作用：結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎：観察を十分に行い、発熱、倦怠感、体重減少、関節痛、網状皮斑、しびれ等の異常が認められた場合には投与中止、適切な処置。</p> <p>：自己免疫性肝炎：長期投与例で、抗核抗体が陽性となる自己免疫性肝炎があらわれることがあるので、定期的に検査を行うなど観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与中止、適切な処置。</p> <p>：多形紅斑</p>

*DSU について：最重要、重要な情報を掲載しています。その他詳細情報については、医薬品・医療機器情報提供ホームページ（<http://www.info.pmda.go.jp/>）で確認可能。